



はい  
淨福寺です。

寺發行  
門徒会  
FAX (025) 536-2532  
jofukuji@alpha.ocn.ne.jp

この度の大杉さんからの贈り物について、大杉さんから寄贈された銅像を皆様方にお披露目し、除幕式を行ないました。

この銅像は、淨福寺にとつてとても大切な宝物となり、大きな歴史的な遺物となりました。

大杉さんに見てほしかったのですが、残念ながらそれは叶いませんでした。けれども、きっとお淨土で見てくれていると思います。

大杉さんが亡くなる二ヶ月ほど前に「淨福寺に銅像を遺したい。」との申し出があり、急遽、昭和49年に淨福寺の梵鐘を作成した、高岡にある「老子製作所」の元井秀治さん（梵鐘を作成していただいた方の息子さん）に連絡をして、作成を依頼しました。

この銅像は、本堂に掛けています淨福寺の縁起の絵伝の中でも非常に大事な一場面を表現しています。

親鸞聖人より阿弥陀様のみ教えを受けた源氏の武将井上忠長はお弟子となり、それを大層喜ばれた聖人が「九字の御名号」（南無不可思議光如來）を忠長に与えました。翌日、共に米山川を渡ったところへ忠長の妻が追いかけてきて、悲しんでいる姿を見かねた聖人は「汝が志誠に神妙なると雖も、館へ帰り妻諸共に尊重して仏恩喜ぶべし。我が供奉致すよりは、宿に帰り同行一人なりとも勧め、我が苦勞を救わば甚だの悦なり。」と申されました。忠長は「是非、お伴させて下

さい。」と懇願しますが、聖人と一緒におられた蓮房が、「師命に背ける者、不敬の至、仰せに任すべし。」と強く叱咤になります。

この度の銅像は、その場面を表現しているのです。

私も何回か高岡に出向き、聖人や忠長、その妻の姿やお顔をどうするかを検討しました。

聖人のお顔は、お若いころを想像しながら、白い襟巻き（恵信尼様が贈られたもの）をトレードマークにして作成しました。そして忠長を諭しながらもどこか笑みを浮かべているお顔は、元井さんが「ご住職の好きな女性の顔にすれば」とおっしゃったので、すぐに実家の母を思い浮かべましたが、よくよく考えたら母は淨福寺と血脉がありません。そこで、今の坊守の若いころの顔にしました（本人もいろいろお願いしていたようです）。

銅像を乗せている石は、群馬県藤岡市で産出される三波石です。緑がかつた石で、とてもきれいな模様が入っています。また、聖人達と妻との間の米山川を演出するために、透明な白と緑の石を撒きました。石に関しては、「光の石」の山本輝さんに依頼しました。いずれこの銅像の由来を別の石に彫る予定です。

ご門徒の皆さんや有縁の人たちに関心を持つて語り継いでいただければ幸いですし、大杉さ

## 大切な人を忘れない



昨年10月30日に、淨福寺で「先代住職教順17回忌・前坊守武子1周忌・前々坊守寿子7回忌」の法事を勤めましたところ、大勢の方がお参りに来て下さいました。皆様方との絆を感じ、心が温まる思いがしました。とても嬉しかったです。心より御礼申し上げます。

先代たちに対する感謝の気持ちだけでなく、新しい絆や出会いなど得るものが多くありました。長男は、今、本願寺の式務部（法要を勤める専門部）に在籍しておりますが、この度の龍笛の演奏がとても上手で嬉しかったです。そして、彼が本願寺で勤めていられるのも皆様のおかげだと改めて思いました。

法事は、亡き人の供養のためにだけあるではありません。むしろその逆で「大切な人」から人の心や仏さまのメッセージを受けとる場で

あります。また、先人たちが大切に受け継いできた「いのち」「教え」を繋ぐことができます。そこで、久ぶりに懐かしい方々に会うことも楽しみです。そこに若い人達もいて下さればなお嬉しいです。

若松英輔さんは次のように言われました。

「真に平和を実現しようと思えば死者の助力を仰がなければならない。毎年、広島と長崎に人々が集まるではないか。彼らは『もう過ちは繰り返しません』と死者に向つて今日も語りかけている。」

毎年、広島と長崎で式典が行われますが、これはとても大事なことです。なぜなら、人は忘ることによって過ちを繰り返すからです。この式典は「もう二度とあの悲劇は繰り返さない」「大きな過ちによって、尊いのちが失われた」など、日頃忘れている大切なことを思い出させるという意義のある式典です。

実は、法事にもそれと同じ意味があります。法事は忘れている大切な方々のお心や願いを思い起こさせるものであり、素敵な言葉と遭遇する



ことができます。  
大阪のあるご住職が次のような歌を詠んでいます。

「往くさきをまちがえずには弥陀の本願頂けと言ひ」

この歌は、85歳のお母様がお亡くなりになる前に「決して地獄行きの生活をするなよ。仏さまの教えを聞いて、お淨土へ行ける生活をするよう皆に言ってよ、言ってよ。」と繰り返し言わされたことからできただそうです。

また、一昨年の母の葬儀の際に川田の源正寺のご住職から次の言葉を教えてもらいました。「人を失つた悲しみの深さは、生前にその人から、わが身が受けていた贈りものの大きさであった。」

とてもいい言葉ですね。

法事の形はいろいろです。引き出物やお齋にこだわる必要もありません。皆さんと一緒にお勤めすることが一番大事です。最後にもう一つ、昨年出遇った言葉を紹介します。

「思えばこの世は仮の宿慈悲の御親に手をひかれ慣れし故郷にいそいそ帰る我が身かな」

合掌



龍笛を演奏する長男 大智



この度4月から淨福寺の法務員となります。  
早川昭真と申します。

出身は熊本で、ご住職の従兄弟になります。

先月16日に、淨福寺の「初お講」に出勤させ

て頂きました。朝から雪が積もり、住職さん坊守さんに教えるもらいながら初めて除雪を行ないました。出身の熊本市内は雪が積もることも殆どなく、新潟の生活には慣れておりません

が、少しずつ皆様のご指導を頂きながら慣れていました。出来の熊本市内は雪が積もることも殆どなく、新潟の生活には慣れておりませんが、少しずつ皆様のご指導を頂きながら慣れていきたいと思っています。

昨年亡くなられた大杉照勝さん後任の淨福寺法務員として責任重大ですが、淨福寺有縁の皆様一人ひとりの心に寄り添いながら、お念佛の教えを伝える活動が出来るよう従事していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。共々にお念佛の教えを伝えてくださった親鸞聖人とのご縁を慶びましょう。

早川昭真

### 早川昭真さんの経歴並びにプロフィール

平成8年龍谷大学文学部真宗学科卒業

覚法寺法務員 本願寺大谷本廟勤務

### 資格

特別法務員 普通自動車第一種免許  
普通自動二輪免許 薩内流茶道初段

### 趣味

筋力トレーニング ドライブなど

## 新しい法務員の紹介

## 「新潟いのちの物語をつむぐ会」 のご案内

この会は、医療従事者や宗教者その他の人々な経験をもつ方々が共に「いのち」について学びを深める会です。すでに10回目を迎えますが、この度は淨福寺で開催致します。テーマや日時は左記の通りです。どなたでも参加できますので、興味のある方は是非いらして下さい。

日時 令和5年5月27日(土) 午後2時

会場 淨福寺 本堂

テーマ

「病告知の後で～病のむこうに見えてくるもの～」

### 趣旨

今、「二人に一人が癌になり、そのうちの三人に一人が亡くなる」と言われています。医師から「あなたは〇〇癌です。」と告知されたら、どんな気持ちになるでしょうか。しかも、その癌が末期と言われたら、どんな絶望や恐怖を感じるでしょうか。「癌イコール死」ではありませんが、病気を克服したとしても、私たちはやがて必ずその時(死)を迎えます。

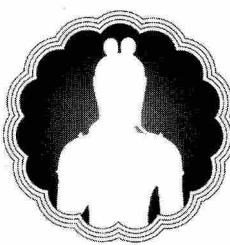
そんな現実のなかで、皆さまの体験を聞かせて頂き共に話し合う中で「希望」を見出せたらいいなあと思い、このテーマを取り上げました。

私の方からも田坂広志さんの『死は存在しない』

という本をもとに、仏教の教えを絡めて話をした

いと思想します。

会の最後に、皆様に素敵なプレゼントを用意しています。



## 本願寺団体参拝旅行のお知らせ

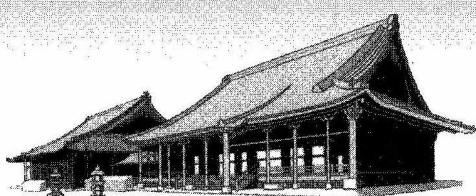
今年、本願寺では「親鸞聖人生誕850年立教開宗800年」のご法要が勤まります。

米山組では、3月29日～31日に参拝が計画されています。ただ、新型コロナウイルス感染の心配もありますので、淨福寺では、その法要期間を外して10月17日～19日に独自に参拝旅行をする計画を立てました。

久しぶりの本願寺参拝ですので、皆様のご参加を心待ちしております。

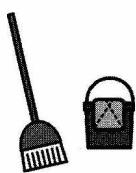
詳しいご案内は後日いたしますが、参加してみようと思われる方は、今から予定して頂ければと思います。取り急ぎお知らせいたします。

日時 令和5年10月17日(火)～19日(木)  
行先 一日目…滋賀県錦職寺(木辺派ご本山)  
参拝他 京都泊  
二日目…本願寺参拝と帰敬式(おかみそり)  
岐阜泊  
三日目…岐阜「モネの絵」の池  
郡上八幡散策 他  
旅費 15名で80,000円ほど  
25名集まれば60,000円ほどになります。





仏具のお磨きの様子



寺  
谷内・金谷・東  
下中山のご門  
徒さんにお願  
いする予定で  
す。何卒ご理  
解・ご協力の  
ほどよろしく  
お願ひ申し上  
げます。

仕には、6区のご門徒さんと常任委員が来て下さいました。いつも皆様から助けて頂き、心より感謝し御礼申し上げます。  
今回は大杉さんがいない初めてのお煤払い清掃奉仕ということで、私は少し不安になりましたが、今まで数多く参加して慣れています。また若い人が多くて助かりました。また若いため、率先して清掃に参加して下さいましたので、とても嬉しかったです。  
今までに3回来て頂いた方には、本願寺より取り寄せた記念品をお渡しました。

次回の報恩講お引き上げ清掃奉仕は、6月11日(日)に大潟区・馬正面・桃園・直海浜・三ツ屋浜・坂田新田・上下浜・法音寺・金谷・東下中山のご門徒さんにお願いする予定です。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

参加費は共に1,000円です。  
どうぞ普段着でお気軽にどうぞ。  
お越し下さい。

## 淨福寺清掃奉仕の御礼と 次回のお願い

# 「初参式」並びに 「新一年生を祝う会」 開催のご案内

淨福寺では、毎年4月に「新一年生を祝う会」を、5月に「初参式」を開催しています。

「初参式」は、赤ちゃんが誕生になられたことを阿弥陀様に報告し、感謝の気持ちを伝える式です。そして、その赤ちゃんが成長して一年生になったときに、また改めて「新一年生を祝う会」でお祝いさせていただいています。

出席された方には、お祝の記念品をお渡します。

該当される方は是非お知らせ下さい。

淨福寺の本堂で御一緒に祝い致しましょう。



### 「新一年生を祝う会」

4月9日(日) 午後1時半～2時半

### 「初参式」

5月14日(日) 午後1時半～2時半

初参式は、昨年1月～12月に生まれた赤ちゃん

と、これまで欠席された赤ちゃんやお子さんも対象です。

参加費は共に1,000円です。  
どうぞ普段着でお気軽にどうぞ。  
お越し下さい。

## 2023(令和5)年度 淨福寺の定期行事

春季彼岸会法要 3月21日(火・祝)

4月9日(日)

初参式 5月14日(日)

6月4日(日)

第1回墓地草刈り清掃(淨福寺にお墓のある方) 6月20日(火)～22日(木)

6月23日(金)

報恩講お引き上げ 6月20日(火)～22日(木)

6月23日(金)

門徒会世話人総会 8月6日(日)

8月6日(日)

第2回墓地草刈り清掃(淨福寺にお墓のある方) 8月7日(月)

8月7日(月)

在方盆参 8月13日(日)～15日(火)

8月13日(日)～15日(火)

秋季彼岸会法要 9月23日(土・祝)

9月23日(土・祝)

除夜会 11月16日(木)

11月16日(木)

町方盆参 12月31日(日)

12月31日(日)

### その他行事

第10回新潟いのちの物語を語る会

上越例会

5月27日(土)

本願寺団体参拝

10月17日(火)～19日(木)

第26回淨福寺公開講座

10月29日(日)

チャリティーコンサート

11月中旬(日)

淨福寺清掃奉仕

6月11日(日)と12月3日(日)

赤倉ホテル有縁講

11月中旬

集 後 記

今後共皆様方からの本誌へのご要望・ご意見、そしてご投稿をお気軽に寄せ下さいます様お願い申し上げます。

編 集 寺報編集委員会

印 刷 株 小 田